

令和3年度平泉観光審議会開催報告書

1. 用 務 令和3年度平泉町観光審議会
2. 月 日 令和4年3月29日(火) 10:00~11:10
3. 用 務 先 201会議室
4. 出 席 者 委員12人全員出席
5. 協 議

令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について

⇒事務局より説明。

- 令和3年の入込数については、コロナ禍2年目で令和2年よりも更に減少した。一方で修学旅行は方面変更で東北管内や北関東の多くの学校が平泉を訪れ、平成8年以降では最高の入込となった。
- コロナ禍に対応したプロモーションでは、オンラインによる旅行会社との商談会が増え、また、コロナの波が落ち着いた時期を見て、修学旅行誘致キャラバンや観光物産展等を実施した。
- 令和4年度で現観光振興計画が最終年を迎える。令和4年度中に時期計画(令和5年度~令和9年度)の策定となることから、審議会でも開催回数を増やして協議いただくことになる。

(質疑・意見)

○高橋委員

これからの観光は見せる観光から体験する観光に変わっていくと考えるので、観光客にまち歩きをしてもらいながらSNSで写真を発信してもらい、良い作品には賞を授与するなど、平泉の良さを更に知ってもらい取り組みが必要である。

また、平泉町議会のコマーシャルに平泉の観光動画を流すなどのPRをしても良い。

→(八重樫課長) 議会のコマーシャルなどは以前からお話をいただいていたいて、議会事務局とも調整する

○内藤委員

令和4年度にもパンフレットの作成で同額を見込んでいるが、コロナ禍でパンフレットの配布状況はどうなっているか。また、令和4年度事業計画にコロナの臨時交付金事業が記載されていないが、交付金事業がないということか。

→(浅利主任主査)パンフレットについては、コロナ禍で令和2年中の作成を見送り、その分令和3年で2ヵ年分として作成・補充した。令和4年度にも同額で計上されているが、コロナの感染状況、観光客の増減をみながら作成していく。

(八重樫) 交付金については、既に令和4年度に繰り越す分の交付金があり、新年度に入り臨時議会が開かれて事業着手となる予定。観光分野でも既に事業を起こしているため、新年度に入ってから取り組んでいくこととなる。

○菅原委員

コロナで修旅が増えたとのことだが、全体の入込みでは元には戻らないと考える。

コロナによって、まち歩きや青空の下での観光、VRやレンタサイクルの活用、新たなガイドセンターなどゆっくり平泉を回っていただく観光に取り組んでいく必要がある。ウォーキングトレイルの取り組みもあるが、改めて関係者で歩きながら危険な場所のチェックしていただきたい。

→（八重樫課長）ウォーキングトレイルについては、新年度早めにみんなで回れるようにする。

○高橋委員

スマートインターが開通したが、宮城の村田インターのように、隣接の道の駅を利用して1時間以内に戻れば高速料金が変わらないなどの取り組みを平泉で取り組んだらどうか。

→（八重樫課長）まちづくりと以前に協議をしたが、ネクスコへ働きかけるかどうか検討する。

⇒ 以上、令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画ともに原案のとおり可決